

「洋書の森」主催  
翻訳者のためのウィークエンド スキルアップ講座 第33回

# 柴田元幸と 翻訳を学ぶ・遊ぶ

4/13 (Sat) 講師: 柴田元幸 氏

二部構成です。第一部(学ぶ)はあらかじめ課題文を参加者が訳してきて、当日は何人かの訳を叩き台に使わせてもらい、訳文向上の方法を探ります。第二部(遊ぶ)講師の朗読が中心です。翻訳したり翻訳したものを朗読したりするのは講師にとって遊びだからです。だから「遊ぶ」といっても、つまりは講師が遊んでいるのを皆さんが聴いている、ということかもしれません。あしからず。

柴田元幸

# ◆ 参加要項 ◆

## 日 時

2019年4月13日（土）15：00～17：00（受付開始14：30）

## 講 師

柴田 元幸 氏（翻訳家）

## 会 場

出版クラブホールA（出版クラブビル3F）  
（千代田区神田神保町1-32 神保町駅A5出口より徒歩2分）  
<https://shuppan-club.jp>

## 参加費

3,000円（税込み）

## 定 員

100名（会費振込み確認順、定員になり次第締切）

★講座終了後、17時30分より近くの別会場にて講師を囲んでの交流会を行います。  
参加ご希望の方は併せてお申込下さい。（会費別途／5,000円・税込み、定員30名）

## お申込み・お問合せ

下記「洋書の森」宛に ①参加される方のお名前 ②連絡先電話番号 ③メールアドレス ④4/13（講座のみ or 講座・交流会とも）参加希望、とメールして下さい。お申し込みいただいた方には折り返し、会費振込み先のご案内をいたします。

会費振込み確認を以て正式に申込み受けとなり、こちらから課題文等、詳細をお送りいたします。会費振込み後、数日経っても返信のない場合はお手数ですが、お電話等でお問い合わせ下さい。（金曜夕方～日曜・祝日にお申込みの方には返信が休日明けとなりますのでご了承下さい。）

なお、会費お振込み後、キャンセルされた場合でも返金はできかねますので、何卒ご注意・ご了承の上、お手続き下さい。

また、当日の飛び入り参加はできません。必ず事前にお申込み・お振込み下さい。

一般財団法人 日本出版クラブ内 「洋書の森」事務局  
E-Mail : [yousho@shuppan-club.jp](mailto:yousho@shuppan-club.jp) TEL 03(5577)1771

## ◆講師略歴◆

### 柴田元幸（しばた・もとゆき）

1979年東京大学文学部英文科卒業  
1984年同大学院人文科学研究科博士課程単位取得満期退学  
1984年東京学芸大学教育学部専任講師  
1985年イェール大学大学院修士課程修了  
1987年東京学芸大学教育学部助教授  
1988年東京大学教養学部助教授  
1997年東京大学大学院総合文化研究科助教授  
1999年東京大学大学院人文社会系研究科英語英米文学専攻助教授  
2004年同教授  
2007年同現代文芸論研究室に異動  
2014年同大学を退任し名誉教授  
2015年より東京大学人文社会系研究科・文学部次世代人文学開発センター集英社高度教養寄付講座特任教授  
須賀敦子翻訳賞、日本翻訳大賞の選考委員を務める。

### 【訳書・編訳書】

1988年 ジョン・J・マカルーン『オリンピックと近代』（菅原克也共訳）平凡社  
1989年 モリス・バーマン『デカルトからベイトソンへ』国文社  
ポール・オースター『幽霊たち』新潮社 のち文庫  
イーサン・ケイニン『エンペラー・オブ・ジ・エア』文藝春秋  
ポール・オースター『鍵のかかった部屋』白水社 のち白水Uブックス  
1990年 スティーヴン・ミルハウザー『イン・ザ・ペニー・アーケード』白水社 のち白水Uブックス  
マイケル・リチャードソン『ダブル/ダブル』（菅原克也共訳）白水社 のち白水Uブックス  
スティーヴ・エリクソン『黒い時計の旅』福武書店 のち文庫、白水Uブックス  
1991年 スティーヴン・ミルハウザー『バーナム博物館』福武書店 のち文庫、白水Uブックス  
ポール・オースター『孤独の発明』新潮社 のち文庫  
マルカム・ブラドベリ『超哲学者マンソンジュ氏』平凡社 のちライブラリー  
1992年 スチュアート・ダイベック『シカゴ育ち』白水社 のち白水Uブックス  
1993年 フィリップ・ロス『父の遺産』集英社 のち文庫  
1994年 ポール・オースター『ムーン・パレス』新潮社 のち文庫  
R・シャパード、J・トーマス編『Sudden fiction 2 超短編小説・世界篇 2』文春文庫  
ポール・オースター『最後の物たちの国で』白水社 のち白水Uブックス  
1995年 ポール・オースター『スモーク&ブルー・イン・ザ・フェイス』新潮文庫  
チャールズ・ブコウスキー『パルプ』学習研究社 のち新潮文庫、のちさらにちくま文庫

- 『イギリス新鋭作家短篇選』新潮社
- 1996年 スティーヴ・エリクソン『Xのアーチ』集英社 のち文庫  
 バリー・ユアグロー『一人の男が飛行機から飛び降りる』新潮社 のち文庫
- 1997年 デイヴィッド・ロッジ『小説の技巧』（斎藤兆史共訳）白水社  
 イーサン・ケイニン『宮殿泥棒』文藝春秋 のち文庫  
 コリン・ウィルソン『わが青春わが読書』学習研究社 のち「超読書体験」文庫
- 1998年 『夜の姉妹団』（編訳アンソロジー）朝日新聞社 のち文庫  
 『いまどきの老人』（監訳、畔柳和代訳）朝日新聞社  
 スティーヴン・ミルハウザー『三つの小さな王国』白水社 のち白水Uブックス  
 ポール・オースター『偶然の音楽』新潮社 のち文庫
- 1999年 『むずかしい愛』（編訳、畔柳和代共訳）朝日新聞社  
 ポール・オースター『リヴァイアサン』新潮社 のち文庫  
 『僕の恋、僕の傘』（編訳）角川書店
- 2000年 リチャード・パワーズ『舞踏会へ向かう三人の農夫』みすず書房 のち文庫(2018年河出文庫)  
 エドワード・ゴーリー『ギャシュリークラムのちびっ子たちまたは遠出のあとで』河出書房新社  
 ベティ・カークパトリック『英語クリーシェ辞典』研究社出版  
 ポール・オースター『空腹の技法』（畔柳和代共訳）新潮社 のち文庫  
 エドワード・ゴーリー『うろんな客』河出書房新社  
 エドワード・ゴーリー『優雅に叱責する自転車』河出書房新社  
 バリー・ユアグロー『セックスの哀しみ』白水社 のち白水Uブックス  
 『パワーズ・ブック』（編）みすず書房
- 2001年 エドワード・ゴーリー『不幸な子供』河出書房新社  
 『ボルヘスの北アメリカ文学講義』国書刊行会  
 エドワード・ゴーリー『蒼い時』河出書房新社  
 エドワード・ゴーリー『華々しき鼻血』河出書房新社  
 ポール・オースター『ミスター・ヴァーティゴ』新潮社 のち文庫
- 2002年 レベッカ・ブラウン『体の贈り物』マガジンハウス のち新潮文庫  
 レベッカ・ブラウン『家庭の医学』朝日新聞社 のち文庫  
 スティーヴン・ミルハウザー『マーティン・ドレスラーの夢』白水社 のち白水Uブックス  
 レベッカ・ブラウン『私たちがやったこと』マガジンハウス のち新潮文庫  
 エドワード・ゴーリー『敬虔な幼子』河出書房新社  
 チャールズ・シミック『世界は終わらない』新書館
- 2003年 エドワード・ゴーリー『雑多なアルファベット』河出書房新社  
 ローラ・ミラー、アダム・ベグリー『サロン・ドット・コム現代英語作家ガイド』（編訳）研究社  
 グレン・バクスター『バクスター危機いっぱつ』新書館  
 エドワード・ゴーリー『弦のないハープ』河出書房新社  
 T・R・ピアソン『甘美なる来世へ』みすず書房  
 チャールズ・シミック『コーネルの箱』文藝春秋
- 2004年 ポール・オースター『トゥルー・ストーリーズ』新潮社 のち文庫  
 バリー・ユアグロー『憑かれた旅人』新潮社  
 グレン・バクスター『バクスターの必殺横目づかい』新書館  
 レベッカ・ブラウン『若かった日々』マガジンハウス のち新潮文庫  
 ナサニエル・ホーソーン『ウェイクフィールド』新潮社  
 エドワード・ゴーリー『題のない本』河出書房新社  
 エドワード・ゴーリー『まったき動物園』河出書房新社  
 ロジャー・バルバース『五行でわかる日本文学』研究社  
 エドワード・ゴーリー『おぞましい二人』河出書房新社
- 2005年 バリー・ユアグロー『ケータイ・ストーリーズ』新潮社  
 コリン・マクノートン『ふつうに学校に行くふつうの日』小峰書店(世界の絵本コレクション)  
 ポール・オースター『ナショナル・ストーリー・プロジェクト』新潮社 のち文庫  
 スティーヴ・エリクソン『アムニジアスコープ』集英社  
 ピーター・シス『三つの金の鍵』BL出版

- 2006年 ポール・オースター『わがタイプライターの物語』新潮社  
 スチュアート・ダイベック『僕はマゼランと旅をした』白水社  
 レアード・ハント『インディアナ、インディアナ』朝日新聞社  
 『どこにもない国』（編訳）松柏社  
 ポール・オースター『ティンブクトゥ』新潮社 のち文庫  
 『紙の空から』（編訳）晶文社
- 2007年 ケリー・リンク『マジック・フォー・ビギナーズ』早川書房 のち文庫  
 バリー・ユアグロー『たちの悪い話』新潮社  
 リチャード・パワーズ『囚人のジレンマ』前山佳朱彦共訳 みすず書房  
 エドワード・リア『ジャンプリーズ』河出書房新社  
 ロジャー・パルバース『新バイブル・ストーリーズ』集英社  
 エドワード・リア『輝ける鼻のどんぐ』河出書房新社
- 2008年 スティーヴン・ミルハウザー『ナイフ投げ師』白水社 のち白水Uブックス  
 リン・ディン『血液と石鱈』早川書房(ハヤカワepiブック・プラネット)  
 スチュアート・ダイベック『それ自身のインクで書かれた街』白水社  
 ポール・オースター『幻影の書』新潮社 のち文庫  
 ジャック・ロンドン『火を熾す』スイッチ・パブリッシング  
 バリー・ユアグロー, レベッカ・ブラウン, ケリー・リンク, スチュアート・ダイベック, ス  
 ティーヴン・ミルハウザー, ポール・オースター『柴田元幸ハイブ・リット 名訳訳家がひらく  
 英語と文学へのゲートウェイ』アルク
- 2009年 J・D・サリンジャー『ナイン・ストーリーズ』ヴィレッジブックス のち文庫  
 ノーマン・ロック『雪男たちの国 ジョージ・ベルデンの日記より』河出書房新社  
 デニス・ジョンソン『ジーザス・サン』白水社  
 『昨日のように遠い日 少女少年小説選』（編訳）文藝春秋  
 レベッカ・ブラウン『犬たち』マガジンハウス  
 『いずれは死ぬ身』（編訳）河出書房新社  
 ポール・オースター『ガラスの街』新潮社、のち文庫  
 『燃える天使』（編訳）角川文庫  
 バーナード・マラマッド『喋る馬』スイッチパブリッシング
- 2010年 トマス・ピンチョン『メイスン&ディクスン』新潮社  
 ポール・オースター『オラクル・ナイト』新潮社 のち文庫  
 アーネスト・ヘミングウェイ『in our time』ヴィレッジブックス  
 ヒレア・ベロック文 エドワード・ゴーリー絵『悪いことをして罰があたった子どもたちの話』  
 河出書房新社
- 2011年 ジョゼフ・コンラッド『ロード・ジム』世界文学全集) 河出書房新社
- 2012年 ディケンズ, ストーカー他著, E・ゴーリー編『エドワード・ゴーリーが愛する12の怪談 憑か  
 れた鏡』（共訳）河出文庫  
 アーネスト・ヘミングウェイ『こころ朗らかなれ、誰もみな』スイッチ・パブリッシング  
 マーク・トウェイン『トム・ソーヤーの冒険』新潮文庫  
 ポール・オースター『ブルックリン・フォーリーズ』新潮社
- 2013年 ナサニエル・ホーソーン 他『アメリカン・マスターピース 古典篇』編訳 スイッチ・パブリッ  
 シング  
 ライマン・フランク・ボーム『オズの魔法使い』角川文庫  
 『書き出し「世界文学全集」』（編訳）河出書房新社  
 フランク・O・キング著, ピーター・マレスカ編『ガソリン・アレーのウォルトとスキージク  
 ス 〈原寸版〉初期アメリカ新聞コミック傑作選1903-1944』（監訳）小澤英実訳 創元社  
 ジョージ・ヘリマン著, パトリック・マクドネル, ピーター・マレスカ編『クレイジー・キャ  
 ット 〈原寸版〉初期アメリカ新聞コミック傑作選1903-1944』創元社  
 グスタフ・ヴァービーック著, ピーター・マレスカ編『さかさま世界 〈原寸版〉初期アメリカ新  
 聞コミック傑作選1903-1944』（監訳）平塚隼介訳 創元社  
 ポール・ラファージ『失踪者たちの画家』中央公論新社  
 ドン・デリーロ『天使エスメラルダ 9つの物語』上岡伸雄, 都甲幸治, 高吉一郎共訳 新潮社  
 ウィンザー・マッケイ著, ピーター・マレスカ編『眠りの国のリトル・ニモ 〈原寸版〉初期ア  
 メリカ新聞コミック傑作選1903-1944』（監訳）上田麻由子訳 創元社

- 2014年 『アイスクリームの皇帝』（選訳）きたむらさとし絵 河出書房新社  
テッド・クーザー作 ジョン・クラッセン絵『木に持ちあげられた家』スイッチ・パブリッシング  
ジョン・クロウリー『古代の遺物』浅倉久志，大森望，畔柳和代共訳 国書刊行会 未来の文学  
『ジム・スマイリーの跳び蛙 マーク・トウェイン傑作選』新潮文庫  
ブライアン・エヴンソン『遁走状態』新潮社  
ケリー・リンク『プリティ・モンスターズ』早川書房  
フィリップ・ロス『プロット・アゲンスト・アメリカ もしもアメリカが・・・』集英社  
エドワード・ゴーリー『蟲の神』河出書房新社  
エドワード・ゴーリー『むしのほん』河出書房新社  
ポール・オースター『写字室の旅』新潮社  
ポール・オースター『闇の中の男』新潮社
- 2015年 スティーヴン・ミルハウザー『ある夢想者の肖像』白水社  
『現代語訳でよむ日本の憲法』木村草太 法律用語監修 アルク  
エドワード・ゴーリー『憑かれたポットカバー クリスマスのための気落ちした気色悪い気晴らし』河出書房新社  
ジェイ・ルービン『日々光』（平塚隼介共訳）新潮社  
ジョナサン・スウィフト他『ブリティッシュ&アイリッシュ・マスターピース』（編訳）スイッチ・パブリッシング  
ハーマン・メルヴィル著，マット・キッシュ作『モービー・ディック・イン・ピクチャーズ 全ページイラスト集』スイッチ・パブリッシング  
レアード・ハント『優しい鬼』朝日新聞出版  
ジョン・サウスワース文，デイヴィッド・ウイメット絵『夜の白昼夢』飛鳥新社  
ザ・ニューヨーカー選『ベスト・ストーリーズⅠ ぴょんぴょんウサギ球』（共訳）早川書房
- 2016年 スティーヴ・エリクソン『ゼロヴィル』白水社  
『マーク・トウェイン』編 集英社文庫ヘリテージシリーズ. ポケットマスターピース  
ウィリアム・サローヤン『僕の名はアラム』新潮文庫  
『エドワード・ゴーリーの優雅な秘密』カレン・ウィルキン，濱中利信，柴田勢津子著（小山太一共訳）河出書房新社  
ザ・ニューヨーカー選『ベスト・ストーリーズⅡ 蛇の靴』（共訳）早川書房  
スティーヴン・ミルハウザー『魔法の夜』白水社  
ザ・ニューヨーカー選『ベスト・ストーリーズⅢ カボチャ頭』（共訳）早川書房  
ローダ・レヴィーン作，エドワード・ゴーリー絵『ぼくたちが越してきた日から そいつはそこにいた』河出書房新社  
ブライアン・エヴンソン『ウインドアイ』新潮社
- 2017年 ナサニエル・ウエスト『いなごの日／クール・ミリオン ナサニエル・ウエスト傑作選』新潮社（新潮文庫 5月1日発売）  
ポール・オースター『冬の日誌』新潮社  
ポール・オースター『内面からの報告書』新潮社  
ジャック・ロンドン『犬物語』スイッチ・パブリッシング  
モーリス・センダック『わたしの兄の本』集英社  
エドワード・ゴーリー『思い出した訪問：人生から取った物語』河出書房新社  
マーク・トウェイン『ハックルベリー・フィンの冒けん』研究社  
レアード・ハント『ネバーホーム』朝日新聞出版  
オリヴァー・ジェファーズ，サム・ウィンストン『本の子』ポプラ社  
スティーヴン・ミルハウザー『木に登る王：三つの中篇小説』白水社  
ナンシー・キーファー絵，レベッカ・ブラウン文，『かつらの合っていない女』思潮社
- 2018年 エドワード・ゴーリー『音叉』河出書房新社  
芥川龍之介 [選] 『芥川龍之介選英米怪異・幻想譚』澤西祐典と共訳 岩波書店  
エドワード・ゴーリー『ずぶぬれの木曜日』河出書房新社  
スティーヴン・ミルハウザー『十三の物語』白水社  
エドワード・ゴーリー『失敬な招喚』河出書房新社  
ポール・オースター『インヴィジブル』新潮社

## 【著書】

- 1992年 『生半可な学者』 白水社 のち白水Uブックス  
1997年 『愛の見切り発車』 新潮社 のち文庫  
『死んでいるかしら』 新書館 のち日経文芸文庫  
『舶来文学柴田商店』 新書館  
1998年 『生半可版英米小説演習』 研究社出版 のち朝日文庫  
2000年 『アメリカ文学のレッスン』 講談社現代新書  
『猿を探しに』 新書館  
2005年 『アメリカン・ナルシス メルヴィルからミルハウザーまで』 東京大学出版会 のち新装版(2017)  
2006年 『バレンタイン』 新書館  
『翻訳教室』 新書館 のち朝日文庫  
『つまみぐい文学食堂』 角川書店 のち文庫  
2008年 『それは私です』 新書館  
2009年 『代表質問 16のインタビュー』 新書館 のち朝日文庫  
2010年 『ケンブリッジ・サーカス』 スイッチパブリッシング のち新潮文庫(2018)  
2018年 『柴田元幸ベスト・エッセイ』 ちくま文庫

## 【共著】

- 1995年 『佐藤君と柴田君』 佐藤良明共著 白水社 のち新潮文庫  
1997年 『英語7』 佐藤良明共著 放送大学  
2000年 『翻訳夜話』 村上春樹共著 文春新書  
2003年 『翻訳夜話2 サリンジャー戦記』 村上春樹共著 文春新書  
2004年 『ナイン・インタビューズ 柴田元幸と9人の作家たち』 アルク  
2005年 『200X年文学の旅』 沼野充義共著 作品社  
2006年 『世界は村上春樹をどう読むか』 沼野充義, 藤井省三, 四方田犬彦共著 文藝春秋 のち文庫  
2007年 『文字の都市 世界の文学・文化の現在10講』 (編著) 東京大学出版会  
2008年 『文学の愉しみ』 沼野充義, 野崎歓共編著 放送大学  
2009年 『柴田さんと高橋さんの「小説の読み方、書き方、訳し方」』 高橋源一郎共著 河出書房新社  
のち河出文庫  
『佐藤君と柴田君の逆襲!!』 佐藤良明共著 河出書房新社  
2013年 『現代作家ガイド ポール・オースター 増補改訂版』 飯野友幸編著 秋元孝文, 上田麻由子, 榎木玲子共著 彩流社  
『ミグラーダ 朗読劇『銀河鉄道の夜』』 古川日出男, 管啓次郎, 小島ケイタニーラブ共著 勁草書房  
2016年 『英語で村上春樹』 新元良一, 内田樹, リチャード・パワーズ著 Jay Rubin, Alfred Birnbaum 訳  
アルク出版教材編集部 企画・編集 Margaret Stalker 英文校正 アルク English journal増刊  
『世界の名作を読む: 海外文学講義』 工藤庸子, 池内紀, 柴田元幸, 沼野充義共著 角川ソフィア文庫  
2018年 『創造するということー続・中学生からの大学講義〈3〉』 宇野重規, 東浩紀, 原研哉, 堀江敏幸, 稲葉振一郎, 中島義道共著 ちくまプリマー新書